

平成18年度決算

平成18年度の各会計決算が平成19年9月に開催された中間市議会で認定されました。
みなさんから納めていただいた市民税などの税金や地方交付税などの収入で、「元気な風が
ふくまちなかま」に向けて事業を実施致しました。

一般会計決算では、収入総額は174億7,134万円、支出総額は167億8,892万円で差し引き
6億8,242万円の黒字となりました。

その他の特別会計を含む全会計の決算は、下表のとおりです。

市民の皆さんの生活に密接に関係している一般会計がどのように使われたか、その決算の
概要についてお知らせします。

●各会計別決算状況

会計名	歳入	歳出
一般会計	174億7,134万円	167億8,892万円
特別会計国民健康保険事業 (単年度決算額) (前年度繰上充用金)	53億4,263万円	60億6,322万円 (54億5,013万円) (6億1,319万円)
住宅新築資金等特別会計 (単年度決算額) (前年度繰上充用金)	1,311万円	6億1,471万円 (3,079万円) (5億8,392万円)
地域下水道事業特別会計	9,658万円	9,454万円
公共下水道事業特別会計	21億4,653万円	21億4,277万円
老人保健特別会計	60億4,205万円	60億2,199万円
公共用地先行取得特別会計	82万円	82万円
介護保険事業特別会計	30億4,877万円	28億3,881万円
保険事業勘定	30億2,921万円	28億1,959万円
サービス事業勘定	1,956万円	1,922万円

※前年度繰上充用金は、前年度の歳入不足額に対して翌年度の歳入を
繰上げて充てることです。

●一般会計

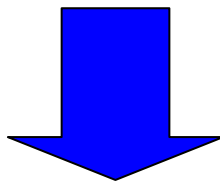
収入総額 174億7,134万円

市税	40億649万円	自主財源 59億3,639万円 (34.0%)	収入総額 174億7,134万円
繰越金	6億5,548万円		
基金の取崩	6億3,200万円	依存財源 115億3,495万円 (66.0%)	
諸収入	2億8,575万円		
分担金・負担金	1億5,332万円		
使用料・手数料	1億5,144万円		
財産収入・寄附金	5,191万円		
地方交付税	52億7,841万円		
国庫支出金	30億9,438万円		
市債	13億3,890万円		
県支出金	6億9,686万円		
地方譲与税	4億9,286万円		
地方消費税交付金など	6億3,354万円		

支出総額 167億8,892万円

◎目的別支出の状況

福祉サービスの提供など	70億651万円	41.7%
借入金の返済	20億4,722万円	12.2%
市役所窓口サービスなど行政の推進	19億4,510万円	11.6%
失業対策に	13億148万円	7.7%
教育の充実に	12億7,110万円	7.6%
道路や市街地の整備	12億1,884万円	7.3%
保健医療やごみ処理など	11億468万円	6.6%
消防防災対策に	4億8,414万円	2.9%
市議会運営に	2億1,442万円	1.3%
農業振興に	1億1,586万円	0.7%
商工業振興に	7,453万円	0.4%
災害復旧に	504万円	0.0%
一般会計合計	167億8,892万円	100.0%



◎性質別支出の状況

義務的な経費 98億6,006万円 58.7%	扶助費	43億4,607万円	支出総額 167億8,892万円
	人件費	34億6,677万円	
	公債費	20億4,722万円	
消費的な経費 53億2,363万円 31.7%	物件費、維持補修費 補助費等、積立金 貸付金、繰出金	53億2,363万円	
投資的な経費 16億523万円 9.6%	普通建設事業費	9億4,682万円	
	失業対策事業費	6億5,337万円	
	災害復旧費	504万円	

●主な事業

◎JR中間駅前パトロール立寄所新築事業 116万円

市内犯罪の抑止を図るため、警察官及び防犯パトロール関係者の立寄拠点となる施設として、JR中間駅前に木造平屋建てのパトロール立寄所を設置しました。

◎中間西小学校区内学童保育所新築事業 2,871万円

中間西小学校敷地内に学童保育所を整備し、平成18年9月に開設しました。西小学校児童が安心して放課後を過ごせる環境が整いました。

◎犬王古月線街路事業にかかる負担金 6,200万円

福岡県が施行する筑豊本線の垣生駅アンダー立体交差点工事に対して地元負担金を支出しました。

◎祭り実行委員会に対する助成 1,490万円

筑前中間さくらまつり、川まつり、やっちゃん祭り、西部市場まつりの各実行委員会に対し助成し、地域住民の交流や活性化を図りました。

◎ふくおかコミュニティ無線システム整備事業 1,186万円

災害時に迅速に情報を伝達し、市民に迅速な避難を促すため、ふくおかコミュニティ無線システムの整備を行いました。このシステムは平成19年度完了予定です。

◎土手ノ内公営住宅建替事業 2億6,030万円

2カ年の継続事業である土手ノ内の市営住宅の建替工事を行いました。今年度は鉄筋コンクリート造3階建の15戸が完成し、全建替事業が完了しました。

◎少子化対策事業の充実(乳幼児医療・児童手当) 3億3,469万円

0歳児から3歳児未満を対象にしていた医療費の公費負担が0歳児から満4歳児までに拡充されました。また3歳児未満については一部自己負担となっていた初診料・往診料が平成19年1月から公費負担となりました。また児童手当についても延べ47,597人の児童に対し2億7,339万円を給付しました。児童手当制度は平成19年度より拡充され児童1人あたり月額1万円が給付されます。

◎学校教育施設整備事業 5,466万円

市内小学校1校、中学校2校のトイレ改修工事、中間南小学校の体育館改修工事を行い、学校教育施設の充実を図りました。

◎国民保護計画の作成 294万円

国民保護法の規定により、有事の事態に住民を保護するための国民保護計画の作成を行いました。